

GFVC ロシア・中央アジア 日本との連携の可能性

平成28年6月22日

一般社団法人北海道総合研究調査会(HIT)

HITのロシア・中央アジア

「中央アジア農業環境調査」



地球規模への課題への挑戦
(環境、食糧、医療、防災)



カザフ研究機関
との協力協定(2015)

ビジネスモデル構築



「キルギス林産品
地域ビジネス振興」

地域国際戦略づくり

ロシア・NIS
の交流拠点
(1993 ~)

道内企業
ビジネス拠点

国際
人材育成

(2000年 ~)

国家戦略と連携
(技術振興、攻める農業)

地域の経験を
活かした国際協力

(2005年 ~)

地域国際化
(観光、スポーツ、食文化)

(2015年 ~)



ジョージア北海道ワイン交流

北海道・ロシアの 農業・食ビジネスの変化

1990年～規格外野菜の対口輸出、水産など原料の輸入

+ ロシアの経済状況改善

2000年～嗜好品(チョコ)、酒類、調味料等の輸出

+ 両地域の戦略

2010年～・機械、生産技術、ノウハウの輸出へ

・健康志向への対応(機能性食品の輸出)

ロシア極東開発戦略、北海道/貢献と参入事業・ヘルスケア産業育成等

ロシアへの食品輸出アプローチ

- ユーラシア経済連合の技術規則への対応
- 消費者の安全安心への強いこだわり(日本以上)
- 信頼できる顧客: 富裕層 < 特殊な条件(軍、資源開発関係)
- 物流環境: トラックは改善、鉄道は停滞、飛行機も検討可能



安全なエコチーズ販売(モスクワ市内)



消費者が所有するロシア産センサー

ユーラシア経済連合

- 2014年5月29日にカザフスタンのアスタナで創設条約を調印
- 2015年1月1日にユーラシア経済共同体を発展的解消して発足
- 同年1月にはアルメニア、5月にはキルギスが新規加盟
- ベトナム、ニュージーランド、トルコ、インド、イスラエル、エジプト、中国等がユーラシア経済連合との貿易協定を希望

< 活動目標 >

- ・商品、サービス、資本、労働力の自由な動き
- ・効率的な透明性の高い運営性体制
- ・経済政策、戦略、法、技術的基準での共有

< 最近の活動事例 >

- ・新規加盟国向け支援の実施
- ・EEUボーダーの管理強化準備
- ・ワンストップサービスの導入の準備

国名	署名日
ロシア	2014年5月29日
ベラルーシ	2014年5月29日
カザフスタン	2014年5月29日
アルメニア	2014年10月10日
キルギス	2014年12月23日

中央アジア・農業分野での可能性 1

1. 農業技術、機材の現地での普及
先端技術と地域に根差した導入環境整備
2. 農業分野での共同事業(生産、輸入、共同開発等)
各国の制度、市場ニーズ、品質管理体制等を把握
3. 品質管理技術、機材の導入
ユーラシア経済同盟加盟国で整備が急がれる



カザフスタン小麦栽培共同研究



タジキスタン等バッタ対策風景

中央アジア・食品分野での可能性(機能性食品等)



シーバクソンロシア・中央アジア、で自生。健康食品として注目される。



麻黄・甘草など
中央アジア全般等での可能性

その他

- ・スイカ、メロン(ウズベキスタン等)
- ・レモン(タジキスタン南部)
- ・ザクロ等

